

Elementary school



安全運転の技術を競い合う

第28回交通安全子ども自転車猪苗代地区大会は6月12日、千里小学校で開かれ、団体総会で翁島Aチームが優勝しました。猪苗代地区交通安全協会と猪苗代警察署の主催するこの大会には、猪苗代、磐梯の両町の4小学校から7チームが出場し、学科テストと走行テストで総合得点を競い合いました。上位に入賞した翁島、長瀬の両小学校は、17日に開かれた交通安全子供自転車大会会津方部大会(警察連絡協議会会津方部会、会津方部交通安全連絡協議会の主催)にも出場。この大会でも同じく優勝、準優勝という成績を収め、7月3日に福島市で開催される県大会に出場します。



写真上 技能走行テスト1番の難所、ジグザグ走行に挑む翁島小の児童
写真下 8の字走行をする長瀬小の児童。両校とも会津方部大会で上位入賞し、安全運転技術の高さを証明しました

両小学校の児童らは「県大会でも普段どおりの力を発揮して頑張りたい」と抱負を述べました。この広報が皆さんのお手元に届くころには、県大会の結果が出ています。頑張れ両チームの選手たち。

Kindergarten & nursery school



おいしいおイモに育ててね

吾妻幼稚園(川上闊男園長)の園児ら8人は6月2日、長命キミ子さん(樋ノ口)宅の畑でサツマイモの苗植えを体験しました。この体験には、作物を育てることから始め、「食べる」ということに関心を持ってもらいたいとの願いから、町食生活改善推進員(星久子会長・以下食改さん)ら4人も参加しました。園児たちは、食改さんから指導を受け、「はやくおおきくなあれ」とおまじないを唱えながら熱心に苗を植えました。「秋には収穫したサツマイモを使って、一緒に調理をしたい。子どもたちの興味を引く食べものの紙芝居などを計画中です」と、星会長は笑顔で話しました。同幼稚園の青木美緒教諭は「昨年までは畑がなく、こうした体験はできなかった。園児たちにもきっと良い体験になる」と話しました。



写真上 「斜めに植えるんだよ」「斜め…こう？」食改さんも身ぶり手ぶりで子どもたちに説明します
写真下 「はやくおおきくなあれ」と園児たちはおまじないを唱えます

スクールトピックス & ニュース INAWASHIRO



栄光の紅獅子旗を目指して

第33回県少年野球選手権大会猪苗代地区予選は6月19、20の両日、町運動公園野球場で開催されました。県野球連盟、福島民報社の主催で実施されたこの大会には、猪苗代、磐梯両町の4中学校から8チームが出場しました。激戦の末、栄冠を手にした東中野球クラブは7月10、11日の両日、南会津町で開かれる会津大会への出場を決めました。



写真上 3年生たち10人にとっては最後の大会。優勝を目指して頑張ります
写真下 けがから復帰したエースで4番の佐藤裕さん(3年)。「ストレートで相手打線を抑えたい」と話しました

主将の渡辺司さん(サード・3年)は「しっかり守ってチャンスをものにするのがチームの持ち味。会津大会では、自分たちが練習してきたことを出し切って、会津制覇を目指す」と抱負を語りました。顧問の橋谷田亨教諭は「野球を楽しむことをテーマに練習してきたチーム。それぞれが自分の役割を果たし、基本に忠実なプレーができる。3年生にとっては最後の大会なので、明るく楽しく、悔いを残さないように頑張ってもらいたい」と話しました。



甘いイチゴがいっぱいだあ

町内のみどり、長瀬、吾妻幼稚園と川桁保育所の園児たちは6月3、4日の両日、町内幸野の有限会社花雅(渡部刃雄代表取締役社長)を訪れ、スーパーハウス内でイチゴ狩りを楽しみました。「イチゴの苗栽培のために摘果するイチゴを食べてもらい、園児たちに喜んでもらおう」という花雅の好意により実施されたものです。園児たちは、赤く色づいた大粒のイチゴを食べるとは「おいしい」「甘い」と笑顔を見せました。ハウス内には、次のイチゴを求めて走り回り、「おいしい」と喜ぶ園児たちの声が響いていました。渡部キン子業務部長が、「皆さんの笑顔が見れて、とてもうれしかったです。お父さん、お母さんにおみやげ話を聞かせてあげてね」と話すと、お土産用の袋いっぱいにイチゴを入れた園児たちは、大きな声で「はい」と返事をしました。



写真上 イチゴ狩りを楽しむ園児たち。「なんでおじさんが食べてんだよ」と笑顔
写真下 真っ赤に実った大粒のイチゴを選び、袋に入れる園児たち。お土産は家族に喜ばれたかな

Junior high school